

令和5年度 創業意識調査 調査研究報告書【要約版】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
創業・ベンチャー支援部 創業・ベンチャー支援課
令和6年3月

目次

| | | |
|------|-----------------------|----|
| I. | 調査研究概要 | 2 |
| II. | アンケート調査 | 6 |
| III. | インタビュー調査 | 13 |
| IV. | 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性 | 16 |

I . 調査研究概要

I. 調査研究概要

■ 調査研究の背景

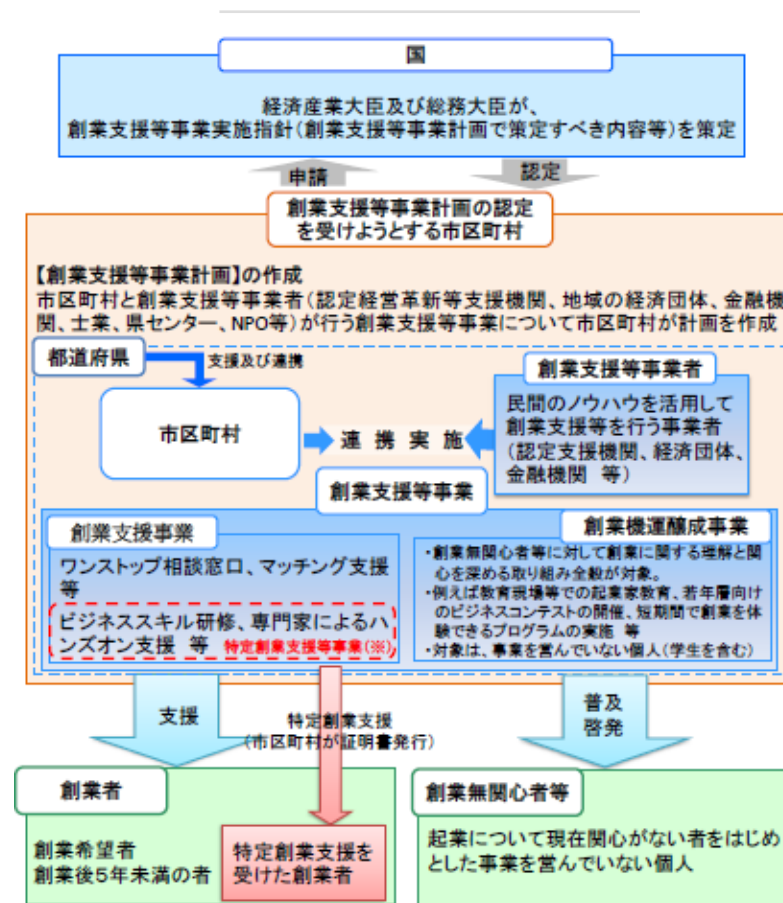
1. 産業競争力強化法にかかる創業支援等事業について

平成26年1月に施行された「産業競争力強化法」では、地域の創業を促進させるため、国が「創業支援事業実施指針」を示した。それを踏まえて市区町村が地域の創業支援事業者と連携して創業支援を行う「創業支援事業計画」を認定し、市区町村が同計画に基づいた具体的な創業支援を行うスキームを整備しており、令和5年12月現在1,332件（1,491市区町村）となっている。また、平成30年7月に施行された「改正産業競争力強化法」では、開業率のさらなる向上を目指し、現行の「創業支援事業」の概念を拡大させて新たに「創業支援等事業」と規定し、創業に関する普及啓発を行う事業（創業機運醸成事業）も含め、起業家教育関連のプログラム実施支援、出前授業、普及啓発事業等を強化している。

2. 中小機構が実施する創業支援等事業計画機能強化事業について

独立行政法人 中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）では、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画の認定市区町村および創業支援機関（以下、認定市区町村等という。）の創業支援の質的向上を目的に、令和4年度より創業支援等事業計画機能強化事業を推進している。既に、認定市区町村等における創業支援事業および創業機運醸成事業の実施状況、事業実施にあたっての課題および支援ニーズ等の詳細を把握した上で、自治体の創業支援担当者を対象とした支援能力の向上に資する講習会の実施や、創業機運醸成に向けたイベントの開催支援、起業家教育事業として高等学校を主な対象に「起業家教育プログラム実施支援」や「起業家教育出前授業実施支援」等を推進している。

産業競争力強化法に基づく創業支援スキーム



出所：中小企業庁「産業競争力強化法における市区町村による創業支援／創業機運醸成のガイドライン」、令和5年8月

I. 調査研究概要

3. 令和4年度創業意識調査について

中小機構は、創業支援等事業計画機能強化事業の一環として、「令和4年度創業意識調査」を実施した。

我が国の創業意識について、個人への大規模アンケート調査により、創業低関心者、高関心者等の類型毎に、①個人的文脈（性格、思考・行動様式、生活・仕事の満足度等）、②社会的文脈（居住地、周囲の状況、情報、教育、事業環境・エコシステム等）の観点から仮説を検証し、様々な示唆を得ている。

また、アンケート調査結果を踏まえ、創業意識の類型毎に、グループ・個別のインタビュー調査を実施し、アンケート調査結果の裏付けや仮説検証の補強が行われている。さらに、産学官の有識者によって構成された調査検討委員会が組成され、調査結果の企画設計から実施・検証まで、多様な観点からの助言・提言を受け、調査報告書を取りまとめている。

■ 調査研究の目的

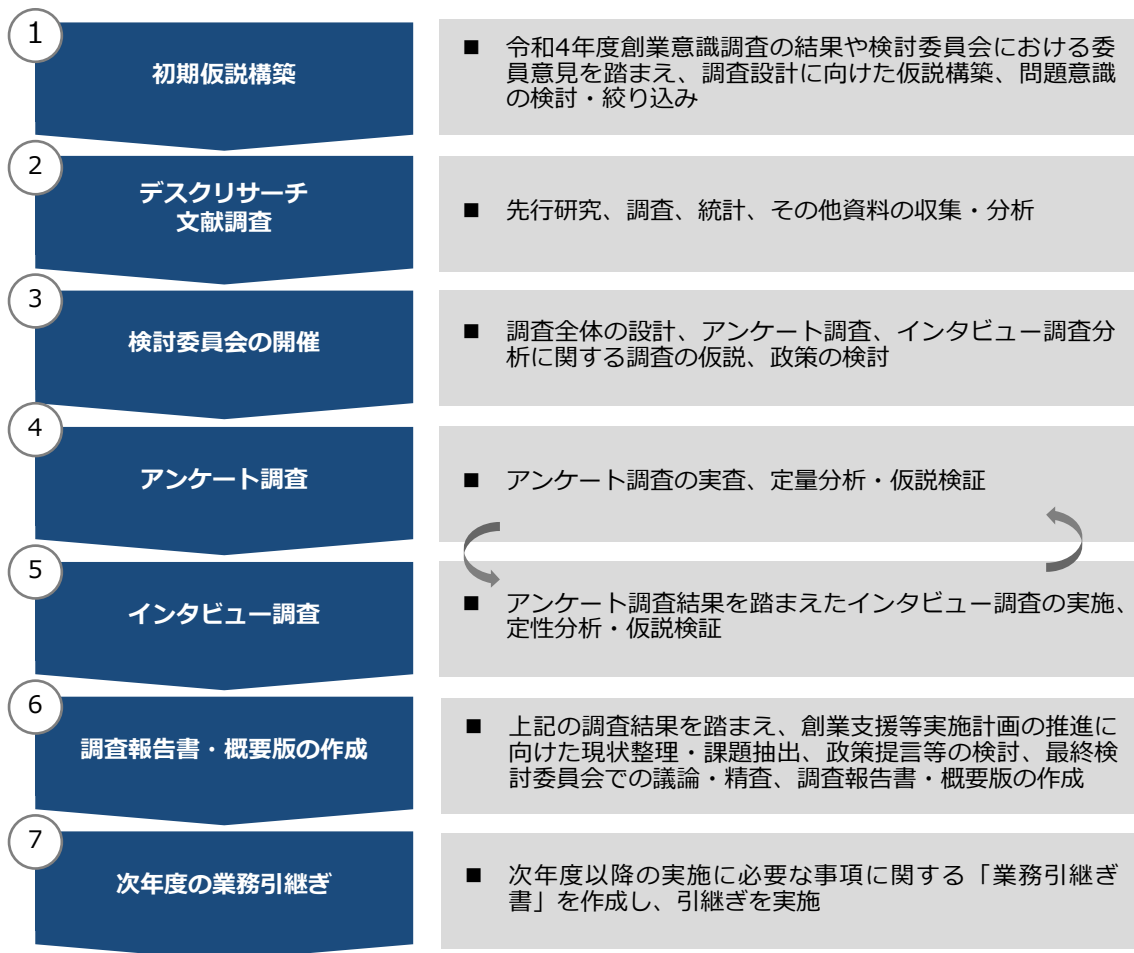
以上を踏まえ、本業務では、創業支援等事業計画機能強化事業の一環として、創業低関心者・創業高関心者・創業中断者・創業者等の実態について調査・分析を行った。

また、認定市区町村等がより効果的な支援施策を盛り込んだ創業支援等事業計画を策定するために必要な情報を提供するとともに、中小機構が認定市区町村等に対して実施する創業支援スキルの質的向上に向けた支援等の基礎資料として調査結果を広く公表するものである。

I. 調査研究概要

調査・検討プロセス

各段階におけるポイント



令和5年度 創業意識調査 検討委員会

実施体制及び開催実績

<順不同・敬称略>

<実施体制（※）>

（委員長）

高橋 徳行 武蔵大学 学長 経済学部教授

（委員）

藤岡 慎二 産業能率大学 経営学部 教授

牧 大介 株式会社エーゼログループ 代表取締役CEO

伊奈 友子 経済産業省 中小企業庁 創業・新事業促進課 課長

日向 康之 株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業本部

創業支援部 創業支援グループ グループリーダー

（オブザーバー）

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

経済産業省 中小企業庁

（事務局）

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

<開催実績>

第1回委員会 2023年10月30日 10:00~12:00

第2回委員会 2024年 1月16日 15:30~17:30

第3回委員会 2024年 2月8日 9:30~11:30

（※）委員長及び委員のご所属・役職は、第3回委員会開催時のもの

Ⅱ. アンケート調査

Ⅱ. アンケート調査

■ 調査結果のポイント

令和5年度調査では、令和4年度調査と同様、個人的／社会的文脈の両面から基本的な分析をした上で、創業低関心者、特に「現時点で創業したいと考えていないが、創業を将来の選択肢の一つとして考えている者（以下、潜在的創業希望者）」の創業に対する認識や課題を重点的に分析した。また、令和4年度調査の残された課題であった海外との比較分析として、GEM調査との比較設問を拡充するとともにネットワークに関する新規設問を追加し、個人的／社会的文脈の両面から我が国の創業意識について深掘をした。

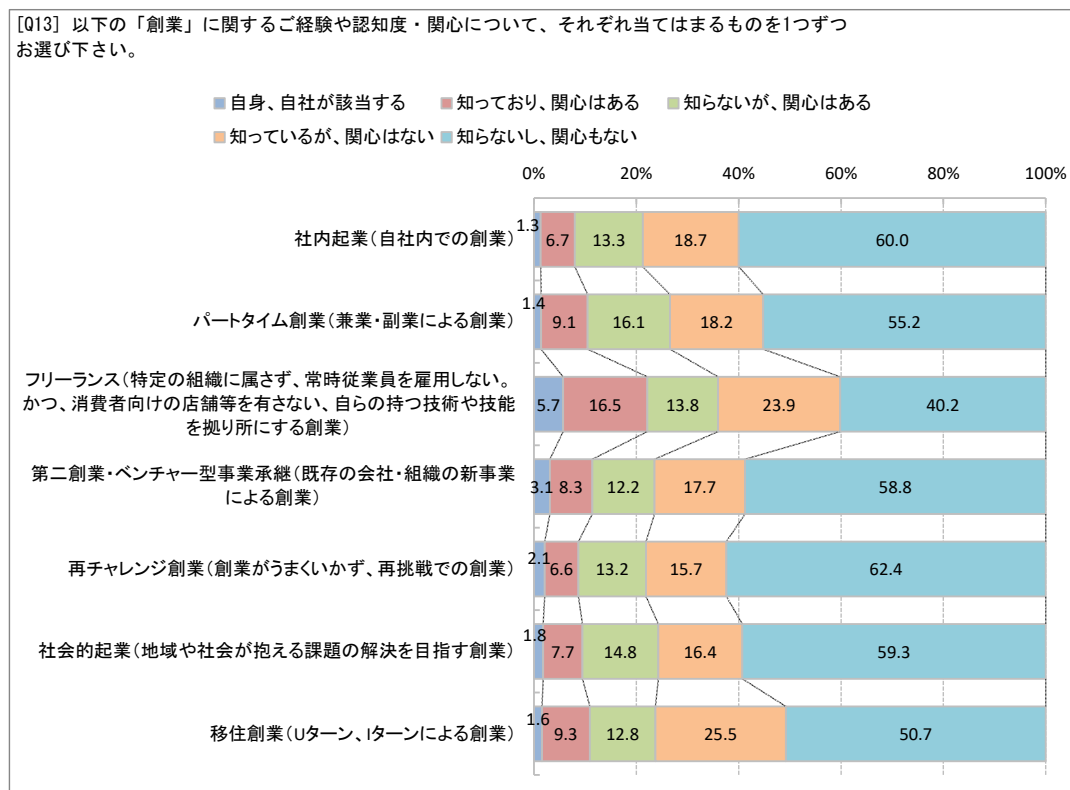
| 類型 | 項目 | 初期仮説 | 検証結果 |
|------------------------|---|--|--|
| 個人的文脈 | 年齢・世代 | 年齢・世代の違いによって、創業への関心や意識が大きく異なるのではないかと。若年層の関心はあまり高くないのではないかと。 | 年齢・世代による創業への関心や意識の差が顕著で、若年層の関心が高い傾向。 |
| | 思考・行動様式の国際比較 | 我が国の創業に関する思考・行動様式は、諸外国と大きく異なっているのではないかと。 | 海外に比べ、日本は「新しいビジネスを始めるために必要な知識、能力、経験を持っている」、「自身の長期のキャリアプランを考えた上で、すべての決断を行っている」とする割合が低く、自身の知識や能力等を過小評価している可能性。 |
| | 創業低関心者の特性 | 創業低関心者の中でも、潜在的創業希望者は、創業に関する認知、評価等の過程を経て、自らの職業選択の一つとしてきたのではないかと。 | 潜在的創業希望者は、条件が整えば、副業によるパートタイム創業をはじめ多様な創業形態を職業の選択肢とするなど、創業に対する行動変容の可能性。 |
| | 起業家教育 | 起業家教育は、新たなプログラムに加え、実施時期の前倒しが必要なのではないかと。 | 起業家教育では、問題解決・探索型の活動を最も重視。高等学校以前の起業家教育の実施は限られるが、創業者等は経験時期が早い傾向。 |
| 社会的文脈 | 創業の事業環境の国際比較 | 我が国の創業に関する事業環境の変化に対する認識は、諸外国と大きく異なっているのではないかと。 | 海外に比べ、日本は、先輩起業家をはじめ知人等のネットワークが弱い傾向。 |
| | 創業に対する周囲の影響・評価、情報 | 家族の影響に加え、知人・友人、特に先輩起業家の影響が大きいのではないかと。 | 家族の中では配偶者や両親、家族以外では、先輩起業家の影響が最も大きく、ソーシャルメディアが続く。 |
| | 地域の創業エコシステム | 地域における事業環境、創業支援の状況等の創業エコシステムに地域間の格差があるのではないかと。 | 創業に何らかの関心がある層は、地域のエコシステムを認知。自治体の規模が小さくなるほど、地域の創業エコシステムに対する否定的な評価。 |
| | | 創業低関心者の中に、自ら創業はせずとも、創業を支援したいという思いがある層がいるのではないかと。 | 潜在的創業希望者は、自ら創業はせずとも、創業間もない企業で働きたい、サービス利用等で支援をしたいというニーズ。 |
| 創業形態 (創業の「入口」・「出口」) | 「創業」のイメージ（典型例）は、ゼロから始める創業に加え、第二創業・ベンチャー型事業承継やパートタイム創業（兼業・副業創業）など「間口（入口）」が広がっているのではないかと。 | 創業・ベンチャー型事業承継、パートタイム創業（兼業・副業創業）、再チャレンジ創業、移住創業への一定の認知と関心。 | |
| | 「創業」のイメージ（典型例）は、ユニコーン企業だけでなく、社会課題解決を目指すゼブラ企業や社会起業家（インパクトスタートアップ）等の「出口」が広がっているのではないかと。 | 社会的起業家（インパクトスタートアップ）等の「社会課題解決型スタートアップ」への一定の認知と関心。社会的起業家は、創業段階、成長志向によって課題認識に相違。 | |

Ⅱ. アンケート調査

■ 創業に関する経験、認知度・関心

「フリーランス」への関心層が4割と経験、認知度・関心が最も高く、次いで、「パートタイム創業」、「社会的起業」、「移住創業（Uターン、Iターンによる創業）」、「第二創業・ベンチャー型事業承継」の順となる。令和4年度調査と同様、創業の入口（パートタイム創業、第二創業・ベンチャー型事業承継）及び出口（社会的起業家：インパクトスタートアップ等）が多様化。

創業に関する経験、認知度・関心



Ⅱ. アンケート調査

■ 創業低関心者の創業に対する認識

創業が増えることへの貢献について、潜在的創業希望者は、創業無関心者に比べ、「利用者として支援したい」、「新しく創業した企業で働きたい」という意向が高い。自ら創業する意思はなくとも、利用者や支援者、勤務者として創業に何らかの関りを持ちたいと考えている状況。

また、潜在的創業希望者は、①自身の知識やスキルをインターネットなどで発信することで収益を得る活動、②現在の勤め先での仕事と並行して、個人事業主として行う副業活動、③既にある企業や店舗を受け継ぎ、有形・無形の経営資源を活かし、新たな事業を立ち上げ運営する活動について、条件が整えば選択したいと考えている。ゼロイチの創業だけでなく、多様なタイプの創業形態を選択する可能性。

創業低関心者の「創業」に対する認識

n = 30 以上
 【比率の差】
 全体 + 10%
 全体 + 5%
 全体 - 5%
 全体 - 10%

Q21 あなたは、社会全体として「創業」が増えることに貢献したいと思いますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

| | 全体 | 利用者として支援したい | 出資・資金提供を行いたい | 自社のビジネスとの連携をしたい | 新しく創業した企業で働きたい | その他 | 必要だが、思いやが、貢献しようとは思わない | 必要ではないと思うので、貢献しようとは思わない |
|----------|--------|--------------|--------------|-----------------|----------------|-----------|-----------------------|-------------------------|
| 全体 | (5726) | 1491 26.0 | 374 6.5 | 377 6.6 | 601 10.5 | 22 0.4 | 2201 38.4 | 1245 21.7 |
| 創業類型 | | | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 381 14.6 | 63 2.4 | 68 2.2 | 84 3.2 | 2 0.1 | 1100 42.2 | 975 37.4 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 1110 35.6 | 311 10.0 | 319 10.2 | 517 16.6 | 20 0.6 | 1101 35.3 | 270 8.6 |

Q24S1 「創業」には、次のような形もあります。あなたは自分のキャリア・職業の選択肢として、次のような「創業」の形について、どのように考えていますか。当てはまるものを1つお選び下さい。
 【自身の知識やスキルをインターネットなどで発信することで収益を得る活動（例：ブロガー、音楽やイラストの投稿者、動画の配信者）】

| | 全体 | 選ぶ可能性の高い選択肢と考えている | 条件が整えば選択したいと考えている | 選ぶかどうかは未定と考えている | 選ぶ可能性の低い選択肢と考えている | よくわからない |
|----------|--------|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|--------------|
| 全体 | (5726) | 354 6.2 | 1305 22.8 | 1154 20.2 | 1205 21.0 | 1708 29.8 |
| 創業類型 | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 71 2.7 | 283 10.1 | 407 15.6 | 676 26.0 | 1187 45.6 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 283 9.1 | 1042 33.4 | 747 23.9 | 529 16.9 | 521 16.7 |

Q24S2 「創業」には、次のような形もあります。あなたは自分のキャリア・職業の選択肢として、次のような「創業」の形について、どのように考えていますか。当てはまるものを1つお選び下さい。
 【現在の勤め先での仕事と並行して、個人事業主として行う創業活動】

| | 全体 | 選ぶ可能性の高い選択肢と考えている | 条件が整えば選択したいと考えている | 選ぶかどうかは未定と考えている | 選ぶ可能性の低い選択肢と考えている | よくわからない |
|----------|--------|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|--------------|
| 全体 | (5081) | 309 6.1 | 1248 24.6 | 1079 21.2 | 1012 19.9 | 1433 28.2 |
| 創業類型 | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2254) | 57 2.5 | 258 11.4 | 365 16.2 | 602 26.7 | 972 43.1 |
| 潜在的創業希望者 | (2827) | 252 8.9 | 990 35.0 | 714 25.3 | 410 14.5 | 461 16.3 |

ABLE0821
 Q24S3 「創業」には、次のような形もあります。あなたは自分のキャリア・職業の選択肢として、次のような「創業」の形について、どのように考えていますか。当てはまるものを1つお選び下さい。
 【既にある企業や店舗を受け継ぎ、有形・無形の経営資源を活かし、新たな事業を立ち上げ運営する活動】

| | 全体 | 選ぶ可能性の高い選択肢と考えている | 条件が整えば選択したいと考えている | 選ぶかどうかは未定と考えている | 選ぶ可能性の低い選択肢と考えている | よくわからない |
|----------|--------|-------------------|-------------------|-----------------|-------------------|--------------|
| 全体 | (5726) | 292 5.1 | 1089 19.0 | 1178 20.6 | 1387 24.2 | 1780 31.1 |
| 創業類型 | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 85 3.3 | 243 9.3 | 346 13.3 | 761 29.2 | 1169 44.9 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 207 6.6 | 846 27.1 | 832 26.6 | 626 20.1 | 611 19.6 |

Ⅱ. アンケート調査

■ 創業低関心者の創業に対する認識（阻害要因）

潜在的創業希望者は、創業無関心者に比べ、「創業に要する金銭的コストが高いため」、「創業した場合に、生活が不安定になることに不安を感じるため」、「創業にかかる手続きが複雑なため」、「創業者を育成するための教育制度が十分ではないため」、「個人保証の問題等、創業に失敗した際のセーフティネットが整備されていないため」との回答割合が高い。

潜在的創業希望者は、生活が不安定になることへの不安など個人的な阻害要因に加え、創業のコスト、起業家教育制度、個人保証の問題やセーフティネットの未整備など我が国における社会的な阻害要因を課題と捉えている。

創業低関心者が考える「創業」の阻害要因

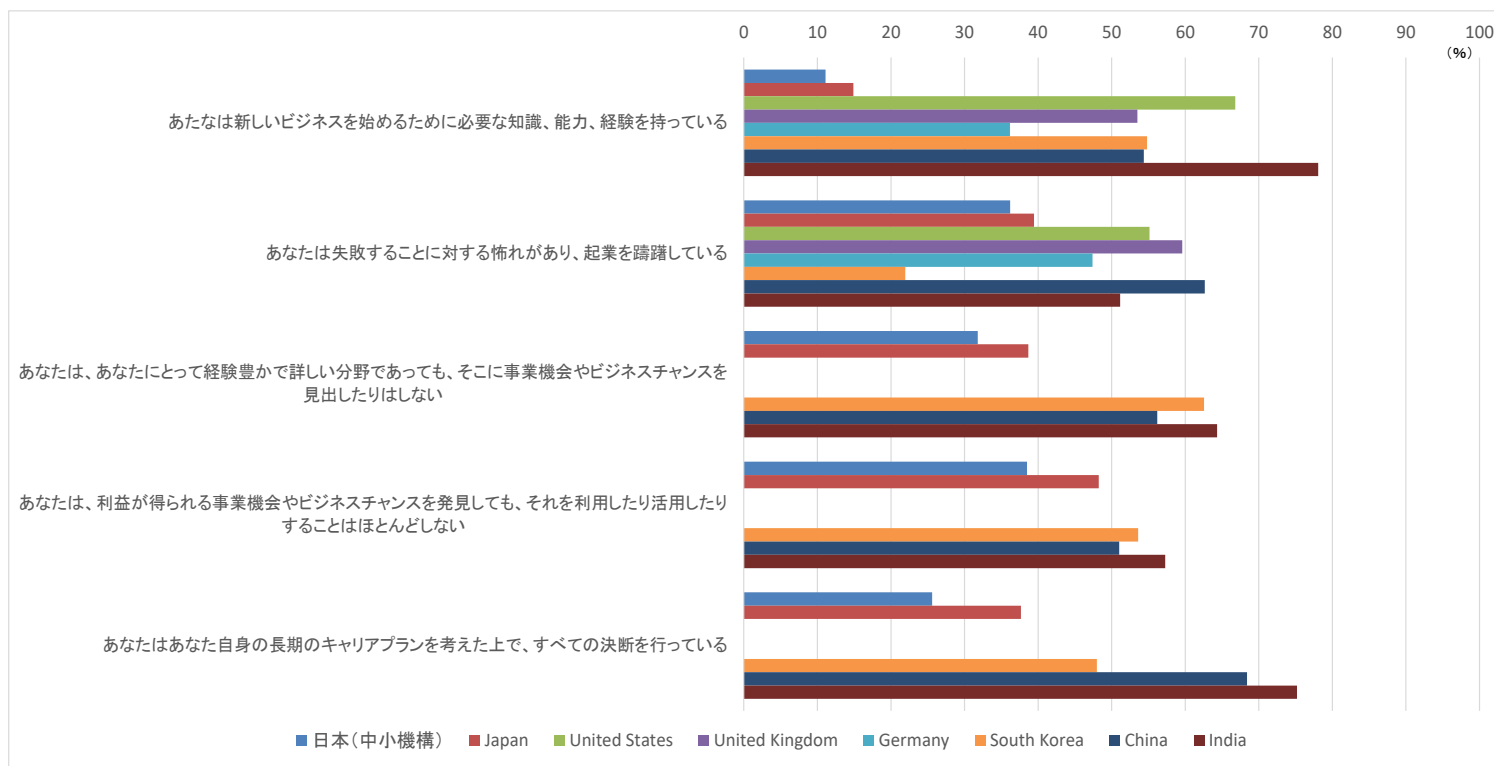
| | 全体 | 創業を職業の選択肢として認識する機会が少ないため | 創業者に対する社会的評価が低いため | 創業者を育成するための教育制度が十分ではないため | 経済が成熟化しており、新しい事業を始める機会が少ないため | 創業に要する金銭的コストが高いため | 創業にかかる手続きが複雑なため | 個人保証の問題等、創業に失敗した際のセーフティネットが整備されていないため | 雇用の流動性が少なく、失敗した時の再就職が難しいため | 大企業への就職等、安定的な雇用を求め意識が高いため | 創業した場合に、生活が不安定になることに不安を感じるため | その他 | 特に無し |
|--------------------|--------|--------------------------|-------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------|-----------------|---------------------------------------|----------------------------|---------------------------|------------------------------|-----------|--------------|
| [当てはまるもの（いくつでも）] | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | (5726) | 1256 21.9 | 494 8.6 | 1182 20.6 | 600 10.5 | 2143 37.4 | 1593 27.8 | 969 16.9 | 894 15.6 | 1045 18.3 | 1946 34.0 | 50 0.9 | 1555 27.2 |
| 創業類型 | | | | | | | | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 452 17.4 | 135 5.2 | 329 12.6 | 178 6.8 | 697 26.8 | 489 18.8 | 278 10.7 | 301 11.6 | 364 14.0 | 679 26.1 | 11 0.4 | 1138 43.7 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 804 25.8 | 359 11.5 | 853 27.3 | 422 13.5 | 1446 46.3 | 1104 35.4 | 691 22.1 | 593 19.0 | 681 21.8 | 1267 40.6 | 39 1.2 | 417 13.4 |
| [最も当てはまるもの（ひとつだけ）] | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | (5726) | 487 8.5 | 126 2.2 | 329 5.7 | 183 3.2 | 849 14.8 | 273 4.8 | 267 4.7 | 189 3.3 | 329 5.7 | 1102 19.2 | 37 0.6 | 1555 27.2 |
| 創業類型 | | | | | | | | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 210 8.1 | 32 1.2 | 96 3.7 | 64 2.5 | 275 10.6 | 84 3.2 | 78 3.0 | 68 2.6 | 150 5.8 | 400 15.4 | 9 0.3 | 1138 43.7 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 277 8.9 | 94 3.0 | 233 7.5 | 119 3.8 | 574 18.4 | 189 6.1 | 189 6.1 | 121 3.9 | 179 5.7 | 702 22.5 | 28 0.9 | 417 13.4 |

Ⅱ. アンケート調査

■ 創業に対する認識（国際比較）

創業意識に対する認識（個人的文脈）の国際比較をすると、海外に比べ、日本は「新しいビジネスを始めるために必要な知識、能力、経験を持っている」、「自身の長期のキャリアプランを考えた上で、すべての決断を行っている」との回答割合が低く、自身の知識や能力等を過小評価している可能性。

創業に対する認識（国際比較）：個人的文脈

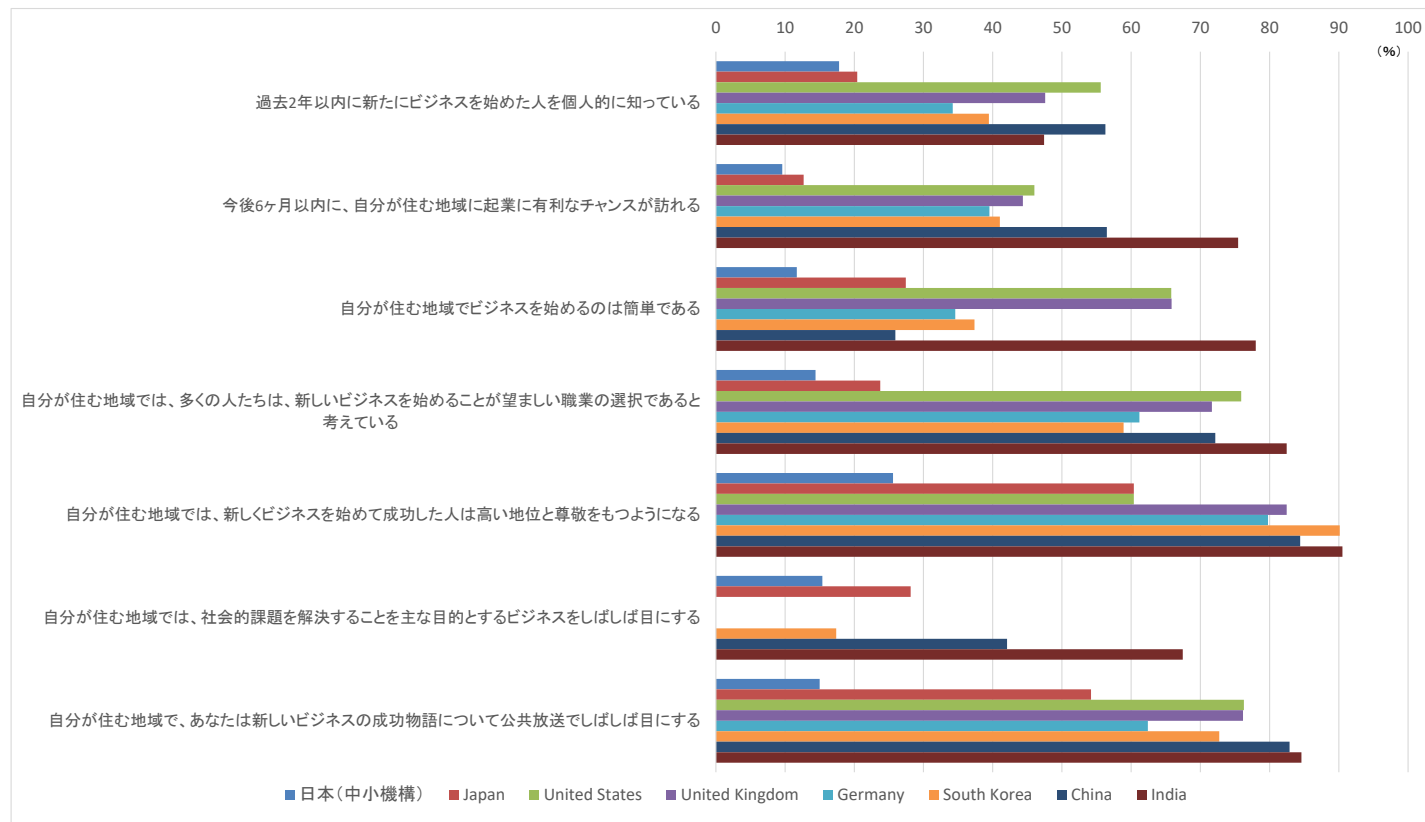


Ⅱ. アンケート調査

■ 創業に対する認識（国際比較）

創業意識に対する認識（社会的文脈）の国際比較をすると、海外に比べ、日本の回答割合が総じて低い傾向。創業につながるネットワーク、ビジネスチャンス、創業に対する社会的な評価等が著しく低い状況。

創業に対する認識（国際比較）：社会的文脈



Ⅲ. インタビュー調査

Ⅲ. インタビュー調査

■ 調査概要

アンケート調査結果を踏まえ、創業のきっかけ・経緯、実態・課題、支援策のニーズ等について、インタビューで深掘。

| 属性 | | 人数 | インタビュー形式 | 深掘テーマ (可能性と課題の両側面を意識) | 主な調査項目 |
|------------|--------------|----|-------------------------------|---|---|
| 創業低 関心者 | 創業 無関心者 | 3 | グループ インタビュー (2時間以 内) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 創業意識醸成の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ● 創業支援者の立場から創業意識が醸成される可能性 ● 副業、事業承継、インターネット活動を切り口に創業意識が醸成される可能性 ■ 創業意識が醸成されない要因 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人的文脈 (性格や資質) ● 社会的文脈 (教育、周囲の人や情報からの影響) | <ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの経験 <ul style="list-style-type: none"> ● 性格、創業者と接する機会、起業家教育、社会人経験、過去に培ったスキル ■ 「働くこと」への意識 ■ 創業に対するイメージ <ul style="list-style-type: none"> ● ポジティブ/ネガティブ、創業支援者という選択肢 ■ 今後の創業可能性 <ul style="list-style-type: none"> ● 副業等の選択肢 |
| | 潜在的 創業希望者 | 3 | グループ インタビュー (2時間以 内) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 潜在的創業希望者が創業に至る可能性 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人的文脈 (起業家教育、副業) ● 社会的文脈 <ul style="list-style-type: none"> - パートタイム創業 - 創業予備軍コミュニティの裾野拡大 ■ 潜在的創業希望者の創業阻害要因 | <ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの経験 (同上) ■ 創業に関心を持ったきっかけ <ul style="list-style-type: none"> ● 個人的文脈 (起業家教育など) ● 社会的文脈 (創業者との接点など) ■ 現時点で創業に関心がない理由 ■ 今後の創業可能性 (同上) |
| 創業高関心者 | | 4 | グループ インタビュー (2時間) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 低関心から高関心に移った要因 <ul style="list-style-type: none"> ● 個人的文脈 (起業家教育の課題と成果) ● 社会的文脈 (創業予備軍コミュニティの課題と成果) ■ 創業の阻害要因 <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な支援 | <ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの経験 (同上) ■ 創業に関心を持ったきっかけ (同上) ■ 現時点で創業していない理由 <ul style="list-style-type: none"> ● 創業に向けた準備、必要な支援 ■ 今後の創業可能性 |
| 創業 中断者 | 創業前 中断者 | 2 | 個別インタ ビュー (1時間) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 創業の阻害要因 ■ 再チャレンジ創業の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ● 創業中断者のコミュニティ ■ 再チャレンジ創業の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な支援 | <ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの経験 (同上) ■ 創業に関心を持ったきっかけ (同上) ■ 創業中断の理由 <ul style="list-style-type: none"> ● 資金、ノウハウ、事業環境、必要だった支援 ■ これまでに活用した公的支援 ■ 再チャレンジの可能性と阻害要因 |
| | 創業後 中断者 | 2 | 個別インタ ビュー (1時間) | | |
| 創業者 | | 6 | 個別インタ ビュー (1時間) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 着目する創業タイプ <ul style="list-style-type: none"> ● 副業・兼業による創業 ● 社会課題解決型起業家 ■ 成長志向の違い <ul style="list-style-type: none"> ● 個人事業/スモールビジネス/急成長 ■ 創業者間ネットワーク | <ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの経験 (同上) ■ 創業に至った経緯 ■ 創業に向けた準備と困難 ■ 事業内容と成長志向 ■ 創業者ネットワークの有無 ■ 公共セクターから受けた創業支援 ■ 公共セクターに求める施策 |

Ⅲ. インタビュー調査

■ 調査結果のポイント

個人的／社会的文脈の両面から、インタビュー調査結果の示唆や課題をまとめた。

インタビュー調査結果のポイント

| 類型 | 項目 | インタビュー調査結果からの示唆や課題 |
|-------|------------------------|---|
| 個人的文脈 | 創業低関心者の特性 | ・創業低関心者が考える創業のハードル（資金、情報、キャリアパス等）は、認知バイアスであり、調べさえすれば実は大きな課題ではない可能性。インターネットですぐにアクセスできる既存の情報や支援策を知らなかった、という例も少なくない。 |
| | 起業家教育のニーズ・方向性 | ・大学からの起業家教育は遅いという前倒しニーズを確認。就職を考え始めた大学生になってから、いきなり創業の具体的な話をしても、既に就活に意識が向いているので響かない。時間にも気持ちにも余裕がない。 ・まずは高等学校以前で「創業」という選択肢を知ると、学校行事の捉え方、学校生活の過ごし方も変わってくる可能性。その後、大学等でストーリーやキャリアパス、ノウハウを示す。まずは「創業」を知ることが重要であり、その後段階的に肉付けが必要。 ・オンラインセミナーのニーズを確認。しかし、自治体主催の対面イベントは若年層にとっては参加しにくい可能性がある。既にオンラインの情報提供機会は多く、情報も飽和状態にあるため、ターゲットを絞って差別化と周知方法を検討することが必要。 |
| 社会的文脈 | 創業に対する周囲の影響・評価、情報 | ・先輩起業家の存在が創業のきっかけになることは多い。また、SNSから影響を受ける人も多かった。突出した成功者だけでなく、身の丈に合った現実感のある創業のストーリーを発信することが必要。 ・先輩起業家の成功事例に加え、失敗者の体験談やその後のキャリアパスのストーリーを示すことが重要。創業を中断している方は再チャレンジや再創業の可能性が高く、躓きのポイントや解決のヒント等を共有することが有用。 |
| | 地域の創業エコシステム | ・フリーランス協会をはじめ民間主導の創業支援コミュニティも活発。民間のコミュニティのノウハウ等を活かし、官民連携による創業支援の可能性。 ・創業による生活の不安定さやリスクを低減するセーフティネットの整備に対する支援ニーズが高い。創業者、転職者等の卒業生（アルムナイ）を活用しやすくする仕組みや支援策によって、創業の後押しをすることも可能。 |
| | 創業形態 （創業の「入口」・「出口」） | ・創業低関心者の中にも、多様な創業形態（インターネットでの活動、フリーランス、パートタイム創業等）に対する一定の認識や関心。いまはいきなり創業しなくても、民間の人材スキルマッチング等のオンラインプラットフォームを通じて経験と実績を積むことも可能。 ・共同創業も選択肢の一つであり、創業の入口の敷居はさらに下がる可能性。自らは創業向きの性格や思考はなく、創業するつもりも全くなかったが、友人の創業の応援がきっかけで、共同創業に踏み切った例も。 |

IV. 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性

IV. 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性

■ 調査研究結果からの示唆・課題と必要な施策の方向性（ポイント）

| 類型 | 調査研究結果からの示唆 | 今後の施策の方向性（案） |
|-------|---|---|
| 個人的文脈 | (1)経営セミナー、起業家による講演会や交流会への参加など起業家教育に対する効果や評価は二極化。創業者等を中心に一定の評価。一方、経験はあるが、創業を考えるきっかけにならなかったとする層も多く存在。また、高等学校以前の起業家教育の経験も限定的。起業家教育の中では、「答えのない問いに対して時間をかけて探求していく活動」が、創業を考えるきっかけになったとの回答割合が高い | (1)若年層向けの起業家教育の支援拡充 ①問題解決・探究型学習の実施内容・体制の強化 ②起業家教育の実施時期の前倒し |
| | (2)創業を将来の選択肢の一つとして考える「潜在的創業希望者」は、フリーランスに加え、パートタイム創業（兼業・副業による創業）、第二創業・ベンチャー型事業承継等の多様な創業形態を職業の選択肢とする可能性 | (2)起業家の多様なロールモデルや創業形態の周知と支援拡充 ①起業家の多様なロールモデルの周知 ②多様な起業家と交流するイベントの実施 |
| 社会的文脈 | (1)創業に何らかの関心がある層は、地域創業エコシステムを認識している傾向。官民の多様な支援策を認識するとともに、有効活用。その中で、潜在的創業希望者は、自ら創業するだけでなく、創業間もない企業で働きたい、サービス利用等で支援をしたいというニーズが高く、地域創業エコシステムの広がり貢献する可能性 | (1)創業の応援希望者の発掘・意識醸成 ①潜在的創業希望者のコミュニティ形成 ②地域創業エコシステム内における多様なコミュニティの形成 |
| | (2)創業に何らかの関心がある層は、先輩起業家からの影響を受けたとする回答割合が高く、地域創業エコシステム形成の起点となる可能性。しかし、創業への関心や機運を高めていくために必要となる相談窓口として、「必要であるが、敷居が高い、相談しにくい」との回答割合が高い | (2)先輩起業家とのコミュニティ形成 ①先輩起業家コミュニティの可視化 ②先輩起業家と創業低関心者との接点構築、相談の敷居を下げる方策 |
| | (3)創業に何らかの関心がある層は、社会的起業家等の「社会課題解決型スタートアップ」への一定の認知と関心。創業に何らかの関心がある層は、社会課題解決を重視。創業類型別にみると、創業高関心者、創業前中断者は「資金調達が難しい」、創業後中断者は「資金調達が難しい」「事業の社会的意義や価値が理解されない」、創業者は「資金調達が難しい」「事業の社会的意義や価値が理解されない」「目指す社会課題の解決と収益性が両立しない」との課題認識 | (3)社会課題解決型創業の支援重点化 ①社会課題解決型の創業やスタートアップの発掘・育成 ②創業段階・類型別の課題に応じた支援の拡充 |

IV. 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性

■ 個人的文脈の観点（1）

＜調査研究結果からの示唆・課題＞

経営セミナー、起業家による講演会や交流会への参加など起業家教育に対する効果や評価は二極化。創業者等を中心に一定の評価。一方、経験はあるが、創業を考えるきっかけにならなかったとする層も多く存在。また、高等学校以前の起業家教育の経験も限定的。

起業家教育の中では、「答えのない問いに対して時間をかけて探求していく活動」が、創業を考えるきっかけになったとの回答割合が高い。

＜必要な施策の方向性＞

若年層向けの起業家教育の支援拡充：①問題解決・探究型学習の実施内容・体制の強化、②起業家教育の実施時期の倒し。

創業類型別 起業家教育の経験・評価、関心

各教育の経験・評価、関心

Q81 あなたの各種教育に対する経験・評価や関心について、それぞれ当てはまるものを選び下さい。
[経営に関する授業・セミナー]

| 全体 | (120000) | 経験・評価・関心 | | | |
|------------------|----------|----------------------|--------------------------|--------------|-------------|
| | | 経験があり、創業を考えるきっかけになった | 経験はあるが、創業を考えるきっかけにならなかった | 経験はないが、関心はある | 経験はなく、関心もない |
| 全体 | (120000) | 5781 | 18045 | 14475 | 81699 |
| 創業類型7類型 | (81562) | 911 | 8587 | 4885 | 67179 |
| 潜在的創業希望者 | (115663) | 1067 | 2206 | 5127 | 65565 |
| 創業高関心者 | (8412) | 6.9 | 18.0 | 32.9 | 42.2 |
| 創業前中断者 | (1794) | 14.7 | 23.4 | 29.0 | 32.8 |
| 創業後中断者 | (3290) | 15.8 | 31.3 | 21.1 | 31.8 |
| 創業者 | (3057) | 17.5 | 37.1 | 14.0 | 31.4 |
| 経営者（10年未満の創業者除く） | (6322) | 21.6 | 31.2 | 14.6 | 32.6 |

Q82 あなたの各種教育に対する経験・評価や関心について、それぞれ当てはまるものを選び下さい。
[起業家等による講演会や交流会への参加]

| 全体 | (120000) | 経験・評価・関心 | | | |
|------------------|----------|----------------------|--------------------------|--------------|-------------|
| | | 経験があり、創業を考えるきっかけになった | 経験はあるが、創業を考えるきっかけにならなかった | 経験はないが、関心はある | 経験はなく、関心もない |
| 全体 | (120000) | 5513 | 11085 | 13487 | 89915 |
| 創業類型7類型 | (81562) | 4.6 | 9.2 | 11.2 | 74.9 |
| 潜在的創業希望者 | (115663) | 1.1 | 5.2 | 5.2 | 88.6 |
| 創業高関心者 | (8412) | 13.4 | 16.4 | 29.7 | 40.5 |
| 創業前中断者 | (1794) | 288 | 423 | 373 | 710 |
| 創業後中断者 | (3290) | 628 | 972 | 447 | 1243 |
| 創業者 | (3057) | 19.1 | 29.5 | 13.6 | 37.8 |
| 経営者（10年未満の創業者除く） | (6322) | 20.6 | 26.8 | 15.4 | 37.2 |

Q8 あなたの各種教育に対する経験・評価や関心について、それぞれ当てはまるものを選び下さい。

単一回答マトリクス

| 全体 | (120000) | 経験・評価・関心 | | | |
|--------------------------------------|----------|----------------------|--------------------------|----------------------------|-------------|
| | | 経験があり、創業を考えるきっかけになった | 経験はあるが、創業を考えるきっかけにならなかった | 経験はあるが、創業を考えるきっかけがなく、関心もない | 経験はなく、関心もない |
| 1 経営に関する授業・セミナー | (120000) | 5781 | 18045 | 14475 | 81699 |
| 2 起業家等による講演会や交流会への参加 | (120000) | 5513 | 11085 | 13487 | 89915 |
| 3 模擬店の出店、模擬会社設立等の体験 | (120000) | 4.6 | 9.2 | 11.2 | 74.9 |
| 4 企業・商店における職場体験 | (120000) | 9363 | 25471 | 10724 | 74442 |
| 5 企業インターンシップへの参加 | (120000) | 6626 | 13929 | 11443 | 88002 |
| 6 事業アイデアの検討、ビジネスプランの作成、ビジネスコンテストへの参加 | (120000) | 5713 | 6894 | 12713 | 94680 |
| 7 答えのない問いに対して時間をかけて探求していく活動 | (120000) | 10157 | 16266 | 27628 | 65949 |
| 8 リーダーシップを育成する教育 | (120000) | 8.5 | 13.6 | 23.0 | 55.0 |
| 9 創業や経営に関する一般的な教育 | (120000) | 4644 | 10380 | 27230 | 77746 |
| 10 金融に関する教育 | (120000) | 4813 | 12651 | 43928 | 58608 |
| 11 マーケティングに関する教育 | (120000) | 4415 | 11107 | 31883 | 72595 |
| 12 情報化に関する教育 | (120000) | 4270 | 12173 | 35538 | 68019 |
| 13 知的財産に関する教育 | (120000) | 4021 | 11323 | 37117 | 67539 |
| 14 消費者に関する教育 | (120000) | 4009 | 11005 | 35876 | 69110 |
| 15 STEAM（※）に関する教育 | (120000) | 6405 | 9082 | 26736 | 77777 |

※Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）を統合した教育

起業家教育の経験時期

Q7 あなたが以下のことを経験された時期について、それぞれ当てはまるもの1つずつを選び下さい。学校外で経験したものも含みます。複数回答経験した場合は、創業への関心にも最も影響を与えた時期をお選び下さい。

| 単一回答マトリクス | 全体 | 経験時期 | | | | | | | |
|--------------------------------------|----------|-------|-------|------------|------|------|-----|--------|--------|
| | | 小学校以前 | 中学校 | 高等学校（浪人含む） | 専門学校 | 短期大学 | 大学 | 最終学歴以降 | 経験がない |
| 1 経営に関する授業・セミナー | (120000) | 1307 | 2744 | 3976 | 2143 | 6601 | 710 | 6345 | 96174 |
| 2 起業家等による講演会や交流会への参加 | (120000) | 0.1 | 2.3 | 3.3 | 1.8 | 5.5 | 0.6 | 5.3 | 80.1 |
| 3 模擬店の出店、模擬会社設立等の体験 | (120000) | 0.6 | 1.4 | 2.3 | 1.6 | 2.6 | 0.6 | 4.8 | 86.2 |
| 4 企業・商店における職場体験 | (120000) | 1265 | 2112 | 8009 | 2660 | 5567 | 642 | 3024 | 96721 |
| 5 企業インターンシップへの参加 | (120000) | 1.1 | 1.8 | 6.7 | 2.2 | 4.6 | 0.5 | 2.5 | 80.6 |
| 6 事業アイデアの検討、ビジネスプランの作成、ビジネスコンテストへの参加 | (120000) | 2605 | 12900 | 6084 | 2965 | 5080 | 736 | 4464 | 85166 |
| 7 答えのない問いに対して時間をかけて探求していく活動 | (120000) | 2.2 | 10.8 | 5.1 | 2.5 | 4.2 | 0.6 | 3.7 | 71.0 |
| 8 リーダーシップを育成する教育 | (120000) | 0.6 | 1.7 | 3.1 | 2.4 | 7.0 | 1.0 | 1.3 | 82.9 |
| 9 創業や経営に関する一般的な教育 | (120000) | 1058 | 1486 | 2114 | 1418 | 2369 | 645 | 3517 | 107393 |
| 10 金融に関する教育 | (120000) | 0.9 | 1.2 | 1.8 | 1.2 | 2.0 | 0.5 | 2.9 | 89.5 |

IV. 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性

■ 個人的文脈の観点（2）

<調査研究結果からの示唆・課題>

創業を将来の選択肢の一つとして考える「潜在的創業希望者」は、フリーランスに加え、パートタイム創業（兼業・副業による創業）、第二創業・ベンチャー型事業承継等の多様な創業形態を職業の選択肢とする可能性。

<必要な施策の方向性>

起業家の多様なロールモデルや創業形態の周知と支援拡充：①起業家の多様なロールモデルの周知、②多様な起業家と交流するイベントの実施。

創業低関心者の「創業」に対する認識

Q24S1 「創業」には、次のような形もあります。
あなたは自分のキャリア・職業の選択肢として、次のような「創業」の形について、どのように考えていますか。
当てはまるものを1つお選び下さい。
[自身の知識やスキルをインターネットなどで発信することで収益を得る活動（例：ブロガー、音楽やイラストの投稿者、動画の配信者）]

| | 全体 | 選ぶ可能性の高い選択肢と考えている | 条件を整えたいと考えている | 選ぶかどうかは未定と考えている | 選ぶ可能性の低い選択肢と考えている | よくわからない |
|----------|--------|-------------------|---------------|-----------------|-------------------|--------------|
| 全体 | (5726) | 354 6.2 | 1305 22.8 | 1154 20.2 | 1205 21.0 | 1708 29.8 |
| 創業類型 | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 71 2.7 | 263 10.1 | 407 15.6 | 676 26.0 | 1187 45.6 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 283 9.1 | 1042 33.4 | 747 23.9 | 529 16.9 | 521 16.7 |

Q24S2 「創業」には、次のような形もあります。
あなたは自分のキャリア・職業の選択肢として、次のような「創業」の形について、どのように考えていますか。
当てはまるものを1つお選び下さい。

[現在の勤先での仕事と並行して、個人事業主として行う副業活動]

| | 全体 | 選ぶ可能性の高い選択肢と考えている | 条件を整えたいと考えている | 選ぶかどうかは未定と考えている | 選ぶ可能性の低い選択肢と考えている | よくわからない |
|----------|--------|-------------------|---------------|-----------------|-------------------|--------------|
| 全体 | (5081) | 309 6.1 | 1248 24.6 | 1079 21.2 | 1012 19.9 | 1433 28.2 |
| 創業類型 | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2254) | 57 2.5 | 258 11.4 | 365 16.2 | 602 26.7 | 972 43.1 |
| 潜在的創業希望者 | (2827) | 252 8.9 | 990 35.0 | 714 25.3 | 410 14.5 | 461 16.3 |

ABLE082]
Q24S3 「創業」には、次のような形もあります。
あなたは自分のキャリア・職業の選択肢として、次のような「創業」の形について、どのように考えていますか。
当てはまるものを1つお選び下さい。

[既にある企業や店舗を受け継ぎ、有形・無形の経営資源を活かし、新たな事業を立ち上げ運営する活動]

| | 全体 | 選ぶ可能性の高い選択肢と考えている | 条件を整えたいと考えている | 選ぶかどうかは未定と考えている | 選ぶ可能性の低い選択肢と考えている | よくわからない |
|----------|--------|-------------------|---------------|-----------------|-------------------|--------------|
| 全体 | (5726) | 292 5.1 | 1089 19.0 | 1178 20.6 | 1387 24.2 | 1780 31.1 |
| 創業類型 | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 85 3.3 | 243 9.3 | 346 13.3 | 761 29.2 | 1169 44.9 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 207 6.6 | 846 27.1 | 832 26.6 | 626 20.1 | 611 19.6 |

IV. 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性

■ 社会的文脈の観点（1）

<調査研究結果からの示唆・課題>

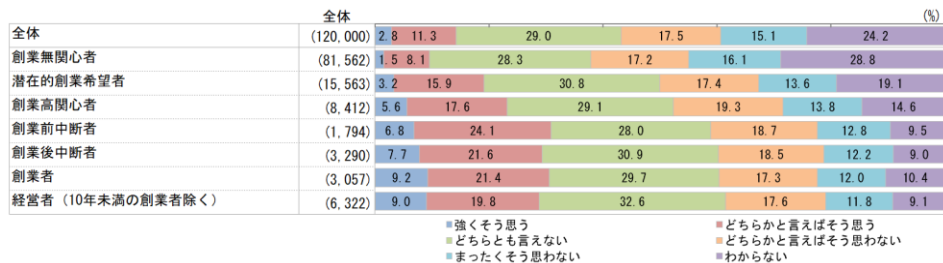
創業に何らかの関心がある層は、地域創業エコシステムを認識している傾向。官民の多様な支援策を認識するとともに、有効活用。その中で、潜在的創業希望者は、自ら創業するだけでなく、創業間もない企業で働きたい、サービス利用等で支援をしたいというニーズが高く、地域創業エコシステムの広がり貢献する可能性。

<必要な施策の方向性>

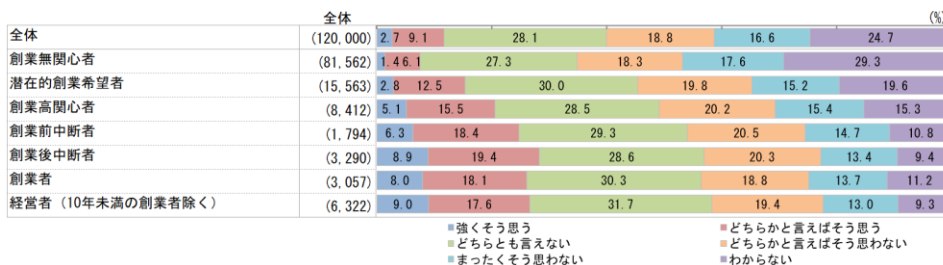
創業の応援希望者の発掘・意識醸成：①潜在的創業希望者のコミュニティ形成、②地域創業エコシステム内における多様なコミュニティの形成。

創業類型別 地域における創業支援の状況

<自治体等に地域・産業振興計画があり、創業を積極的に支援している>



<民間の創業支援者が存在し、積極的に支援をしている>



創業低関心者の「創業」に対する認識

Q21 あなたは、社会全体として「創業」が増えることに貢献したいと思いませんか。当てはまるものを全てお選び下さい。

| | 全体 | 利用者として支援したい | 出資・資金提供をしたい | 自社のビジネスとの連携をしたい | 新しく創業した企業で働きたい | その他 | 必要だとは思いますが、貢献しようとは思わない | 必要ではないと思うので、貢献しようとは思わない |
|----------|--------|-------------|-------------|-----------------|----------------|-----|------------------------|-------------------------|
| 全体 | (5726) | 1491 | 374 | 377 | 601 | 22 | 2201 | 1245 |
| 創業類型 | | | | | | | | |
| 創業無関心者 | (2604) | 381 | 63 | 58 | 84 | 2 | 1100 | 975 |
| 潜在的創業希望者 | (3122) | 1110 | 311 | 319 | 517 | 20 | 1101 | 270 |
| | | 26.0 | 6.5 | 6.6 | 10.5 | 0.4 | 38.4 | 21.7 |
| | | 14.6 | 2.4 | 2.2 | 3.2 | 0.1 | 42.2 | 37.4 |
| | | 35.6 | 10.0 | 10.2 | 16.6 | 0.6 | 35.3 | 8.6 |

IV. 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性

■ 社会的文脈の観点（2）

<調査研究結果からの示唆・課題>

創業に何らかの関心がある層は、先輩起業家からの影響を受けたとする回答割合が高く、地域創業エコシステム形成の起点となる可能性。しかし、創業への関心や機運を高めていくために必要となる相談窓口として、「必要であるが、敷居が高い、相談しにくい」との回答割合が高い。

<必要な施策の方向性>

先輩起業家とのコミュニティ形成：①先輩起業家コミュニティの可視化、②先輩起業家と創業低関心者との接点構築、相談の敷居を下げる方策。

創業類型別 先輩起業家の影響、相談相手の可能性

Q16S1 あなたの「創業」への考え方に対して家族等以外の周囲から受けた影響について、それぞれ当てはまるものを1つずつお選び下さい。
[先輩起業家]

| | 全体 | 影響を受けた | やや影響を受けた | どちらとも言えない | あまり影響を受けていない | 影響を受けていない |
|----------|----------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 全体 | (11547) | 708 6.1 | 2228 19.3 | 3290 28.5 | 1651 14.3 | 3670 31.8 |
| 創業類型_6類型 | 創業無関心者 | (2604) 0.7 | 126 4.8 | 717 27.5 | 344 13.2 | 1400 53.8 |
| | 潜在的創業希望者 | (3122) 3.8 | 519 16.6 | 991 31.7 | 522 16.7 | 972 31.1 |
| | 創業高関心者 | (4142) 9.7 | 402 25.6 | 1062 27.9 | 1157 13.5 | 559 23.2 |
| | 創業前中断者 | (559) 8.2 | 46 33.3 | 186 23.1 | 129 14.8 | 83 20.6 |
| | 創業後中断者 | (560) 8.9 | 50 32.9 | 184 29.3 | 164 13.4 | 75 15.5 |
| | 創業者 | (560) 13.4 | 75 27.0 | 151 23.6 | 132 12.1 | 68 23.9 |

Q20S1 今後、創業への関心や機運を高めていくために必要となる相談相手や窓口について、それぞれ当てはまるものを1つお選び下さい。
[同業や異業種、取引先等の経営者（先輩起業家）]

| | 全体 | 必要である | 必要であるが、敷居が高い、相談しにくい | 相談に行ってみたいが、手間と得られる効果が釣り合わないと思う | 存在を認識しているが、必要ではない | 存在を認識していない |
|----------|----------|----------------|---------------------|--------------------------------|-------------------|--------------|
| 全体 | (11547) | 2560 22.2 | 3308 28.6 | 2079 18.0 | 977 8.5 | 2623 22.7 |
| 創業類型_6類型 | 創業無関心者 | (2604) 12.7 | 330 15.7 | 410 14.4 | 375 9.7 | 252 47.5 |
| | 潜在的創業希望者 | (3122) 23.9 | 747 32.1 | 1002 16.2 | 507 8.0 | 250 19.7 |
| | 創業高関心者 | (4142) 26.7 | 1107 31.7 | 1311 20.1 | 833 7.5 | 312 14.0 |
| | 創業前中断者 | (559) 22.9 | 128 36.5 | 204 20.8 | 116 9.1 | 51 10.7 |
| | 創業後中断者 | (560) 20.0 | 112 35.9 | 201 25.0 | 140 9.1 | 51 10.0 |
| | 創業者 | (560) 24.3 | 136 32.1 | 180 19.3 | 108 10.9 | 61 13.4 |

IV. 調査研究結果からの示唆と今後の施策の方向性

■ 社会的文脈の観点（3）

<調査研究結果からの示唆・課題>

創業に何らかの関心がある層は、社会的起業家等の「社会課題解決型スタートアップ」への一定の認知と関心。創業に何らかの関心がある層は、社会課題解決を重視。創業類型別にみると、創業高関心者は「資金調達が難しい」、創業後中断者は「資金調達が難しい」「事業の社会的意義や価値が理解されない」、創業者は「資金調達が難しい」「事業の社会的意義や価値が理解されない」「目指す社会課題の解決と収益性が両立しない」との課題認識。

<必要な施策の方向性>

社会課題解決型創業の支援重点化：①社会課題解決型の創業やスタートアップの発掘・育成、②創業段階・類型別の課題に応じた支援の拡充。

創業類型別 創業に関する経験、認知度・関心（社会的起業）

Q13S6 以下の「創業」に関するご経験や認知度・関心について、それぞれ当てはまるものを1つずつお選び下さい。
[社会的起業（地域や社会が抱える課題の解決を目指す創業）]

| | 全体 | 自身、 自社が 該当する | 知って おり、 関心は ある | 知らない が、 関心は ある | 知って いる が、関 心はな い | 知らない し、関 心も ない | |
|--------------|------------------|--------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------------|-------|
| 全体 | (120000) | 2201 | 9260 | 17711 | 19688 | 71140 | |
| 創業類型_7類 型 | 創業無関心者 | (81562) | 622 | 2385 | 6727 | 12548 | 59280 |
| | 潜在的創業希望者 | (15563) | 0.8 | 2.9 | 8.2 | 15.4 | 72.7 |
| | 創業高関心者 | (8412) | 174 | 2121 | 4737 | 2859 | 5672 |
| | 創業前中断者 | (1794) | 1.1 | 13.6 | 30.4 | 18.4 | 36.4 |
| | 創業後中断者 | (3290) | 246 | 1778 | 2491 | 1472 | 2425 |
| | 創業者 | (3057) | 2.9 | 21.1 | 29.6 | 17.5 | 28.8 |
| | 経営者（10年未満の創業者除く） | (6322) | 74 | 399 | 588 | 357 | 376 |
| | | 4.1 | 22.2 | 32.8 | 19.9 | 21.0 | |
| | | 270 | 731 | 944 | 632 | 713 | |
| | | 8.2 | 22.2 | 28.7 | 19.2 | 21.7 | |
| | | 277 | 694 | 773 | 557 | 756 | |
| | | 9.1 | 22.7 | 25.3 | 18.2 | 24.7 | |
| | | 538 | 1152 | 1451 | 1263 | 1918 | |
| | | 8.5 | 18.2 | 23.0 | 20.0 | 30.3 | |

創業類型別 創業における社会課題解決の考え方

| | 全体 | 12.0 | 26.1 | 19.1 | 6.7 | 8.1 | 27.9 |
|--------|---------|------|------|------|-----|------|------|
| 創業高関心者 | (4,142) | | | | | | |
| 創業前中断者 | (559) | 10.7 | 27.7 | 20.6 | 8.8 | 11.4 | 20.8 |
| 創業後中断者 | (560) | 8.6 | 25.4 | 21.3 | 9.3 | 14.5 | 21.1 |
| 創業者 | (560) | 11.6 | 28.0 | 24.5 | 7.1 | 16.3 | 12.5 |

■重視する／していた（社会課題解決を目指す）
 ■どちらかと言えば重視する／していた（重要なもの一つとして扱う）
 ■どちらとも言えない
 ■どちらかと言えば重視しない／していなかった（他に優先事項がある）
 ■重視しない／していなかった（経営上重要ではない）
 ■わからない

創業類型別 創業事業における社会課題解決の検討や実施の過程での課題

| | 全体 | 目指す 社会課 題の解 決と収 益性が 両立し ない | 事業の 社会的 意義や 価値が 理解さ れない | 資金調 達が難 しい | 社会的 な信用 を得ら れない | ビジネ スモデ ルの確 立が難 しい | 人的リ ソース が不足 してい る | その他 |
|--------|--------|--|--|------------------|--------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-----|
| 創業類型 | | | | | | | | |
| 創業高関心者 | (1577) | 364 | 210 | 506 | 139 | 236 | 108 | 14 |
| 創業前中断者 | (215) | 23.1 | 13.3 | 32.1 | 8.8 | 15.0 | 6.8 | 0.9 |
| 創業後中断者 | (190) | 34 | 55 | 54 | 19 | 17 | 8 | 3 |
| 創業者 | (222) | 57 | 53 | 53 | 17 | 22 | 16 | 4 |
| | | 25.7 | 23.9 | 23.9 | 7.7 | 9.9 | 7.2 | 1.8 |



Be a Great Small.

中小機構